

近世文芸作品コレクション (リチャード・レイン氏旧蔵コレクション) (貴重書)

リチャード・レイン(LANE, Richard Douglas, 1926-2002)は、日本文化、特に浮世絵を中心とした近世日本絵画の研究者。彼の著作『浮世絵百科図典』(Images from the floating world : Japanese print:including an illustrated dictionary of Ukiyo-e)は、氏の浮世絵研究の集大成で、その基礎資料となったのがこの近世文芸コレクションであると考えられ、吟味された蒐集で資料的価値は高い。中には、ゴンクール、ブルティ、ジャバル等といった外国人日本研究者の旧蔵になるものがあることも興味深い。

特色は、黒本・青本等の近世絵本のコレクションとしてまとまったものであるという点である。黒本・青本を含む 52 タイトル、113 点を所蔵。その内、黒本 13 点、青本 5 点、いずれとも判断できない 1 点の計 19 点は、他に現存を確認できない貴重なものである。「熊坂誕生話」「恵方福人揃」「歌うら伝」「角力物語」「兼好法師草枕」「熊野篠懸」(以上黒本)。「和唐内稚立」「色紙百人一首」(以上青本)は、「国書総目録」や「日本小説年表」にも掲載されていない、存在さえ未知のものである。